

# みら

## 第 13 号

2018年3月1日 発行

安城保護区保護司会

発行責任者 石川 誠

安城市役所社会福祉課  
総務部会「みち」編集委員会

## 第67回社会を明るくする運動

“社会を明るくする運動”は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。



標語受賞者のみなさん



作文受賞者のみなさん

(P2、3に掲載)

## 重点地区の啓発活動

安城南中学校区 保護司 水野 義孝

本年度の「社会を明るくする運動」重点地区は、安城南中学校区が担当し、平成29年7月1日（土）新設の『アンフォーレ』で副市長、薬物乱用防止指導員、中学校区の16町内会長、協力雇用主、更生保護女性会、中学校区の市議会議員の協力で啓発活動を行いました。中学校区の町内会には、啓発グッズを配布し、犯罪や非行の防止、立ち直り支援のきっかけとして街頭啓発活動、ミニ集会（地域集会）へのご協力をお願いしました。7月中旬には、街頭啓発活動の写真と報告書を皆さんに持参し、さらに協力依頼をしました。



## 西中学校区・篠目中学校区合同ミニ集会

安城西中学校区 保護司 梅村 正一

ミニ集会は、平成29年7月15日（土）午後4時から二本木コミュニティセンターを会場に合同で開催しました。開催にあたっては、二本木連合町内会の全面的協力を得て町内会役員、民生委員、安城西中学校長、篠目中学校長、警察関係者など43名の参加者がありました。神谷善雪保護司による薬物乱用防止の講話、更生保護活動を紹介したDVD放映を行い、質疑応答では、保護司の確保のため任用年齢制限の緩和や聴覚障害者の保護観察について質問がありました。



# 標語・作文の表彰(安城市標語・作文コンテスト)



## 標語

**最優秀賞** 大谷 悠乃 安城西中学校3年  
「育てよう 優しい心と 笑顔の輪」

**優秀賞** 土工 悠衣 安城南中学校3年  
「目を向けて スマホじゃ相手に 伝わらない」

**優秀賞** 杉浦 舞帆 安城南中学校3年  
「あなたの手 いじめじゃなくて 救うため」

**入選** 近藤 宰 安城南中学校3年

**入選** 鎌田 なつみ 安城南小学校6年

**入選** 田中 愛莉 安城中部小学校5年

**最優秀賞** 羽田 渚紗 祥南小学校5年  
「そのえがお おうちでまってる 人がいる」

**優秀賞** 池野 紗和音 祥南小学校1年  
「町内みんな顔見知り みんなで防ごう 犯罪を」

**優秀賞** 入山 ちほみ 安城南部小学校1年  
「非行の芽 つみとる道具は 地域の目」

**入選** 徳本 陽詩 三河安城小学校5年

**入選** 森川 奈保 丈山小学校5年

**入選** 友廣 夢就 安城中部小学校2年

## 作文

**最優秀賞** 紫倉 千夏 明祥中学校2年  
「相手を思う気持ち」

**優秀賞** 中村 仁美 篠目中学校3年  
「夢と希望と 今中学生が訴えたいこと」

**優秀賞** 別所 圭太 桜井小学校6年  
「犯罪のない世の中へ」

**入選** 村松 泰地 東山中学校1年

**入選** 森川 理央 錦町小学校6年

**入選** 藤井 にこ 安城中部小学校6年

**最優秀賞** 長谷川 優奈 祥南小学校6年  
「言葉は心を傷つけ心をいやす」

**優秀賞** 福永 珠久 里町小学校6年  
「明るい社会を目指して」

**優秀賞** 三輪 桜己 志貴小学校6年  
「『気がついて』大切なことに」

**入選** 三浦 萌花 安城北部小学校6年

**入選** 久世 獅結 丈山小学校5年

**入選** 三宅 洋翔 高棚小学校6年

## 〈作文〉最優秀賞

「相手を思う気持ち」 明祥中学校2年 紫倉 千夏



犯罪や非行に走ることは、とてもいけないことだと思います。しかし罪を犯してしまった人だけが悪いとは限らないと思います。なぜなら、それを他の人が止めることができていたかもしれないからです。また、誰かの言葉や行動がきっかけとなっておこってしまったことかもしれないからです。

何かをする時には、必ず理由があると思います。テレビなどで、面白そうだからやった、やってみたかったからやった、みたいな事を聞いたりしますが、それとは違う思いがある人もいます。

部活や勉強、友達関係などでうまくいかず悩みやストレスを抱えている人はたくさんいると思います。そんな時は、私はお母さんや友達に話すようにしています。誰にも話さずにしてしまうと、どんどんストレスを感じてきてしまう気がします。悩み事は一人で抱え込まずに誰かに相談することが大事だと思います。誰にも相談せずに一人で抱えこんでしまうことにより、イライラがたまり、悪い事をするようになっていってしまう人もいます。その、

ちょっとした変化に気づいてあげる事はできないのでしょうか。そして、相談にのってあげる事はできないのでしょうか。少し声を掛けてあげるだけでもその子の未来は十分かわってくると思います。

もしも、犯罪や非行の道へ進んでしまったとしても、やり直すことは可能だと思います。しかし、一度でも犯罪を犯した人に対して私たちはとても冷たくなります。その理由には、その人と関わるのが怖いといったのもあれば、もう一度やるんじゃないの、といった疑いがあるからではないのでしょうか。そんな疑いを残したまま接してしまうと、何かあった時にその人がやったんだと証拠もなく悪者に仕立て上げてしまうのではないのでしょうか。例えば、万引きをしていた子だとすると、またやるかもしれないという風に見られてしまいます。そんな時に万引きがおこったとしたら、みんなはその子がやったんだと思ってしまいます。このようにやってもない罪をかぶせられたとしたら、この人はまた、悪い事をするようになっていってしまうかもしれません。

私たちは、必死でやり直そうとしている人たちに  
対しても冷たい目、疑いの目で見ています。そ  
んなんでは、その人たちがどれだけ頑張ったところ  
で正しい道へと進んで行くことは不可能になってし  
まうのではないのでしょうか。なので、まずは私たち  
がその人たちを暖かく受け入れてあげることが大  
切だと思います。また、「犯罪者」と聞くと、悪い人だ  
と決めつけてしまいがちです。私も、犯罪と非行に  
ついて考えるまでは、犯罪者はとても怖くて悪い人  
だと決めつけていましたが悪い人ばかりではない、  
一生懸命変わろうとしている人がいる、と思った

ら、そんな人たちを応援したいと思いました。

誰でも優しく暖かい心をもっていると思います。  
その、暖かい心と信じる気持ちを大切にし、一人で  
も多く、犯罪や非行の道へ行ってしまう人を助けて  
あげられるようになりたいと思いました。相手を思  
いやる気持ちを大切にしていけば、たくさんの笑顔  
と幸せがあふれる世の中になっていくのではない  
でしょうか？そういうちょっとした気持ちが、犯罪  
や非行のない明るい社会を作っていくんだと思い  
ます。

## 《作文》最優秀賞

### 「言葉は心を傷つけ心をいやす」 祥南小学校6年 長谷川 優奈



最近、ニュースで「いじめ」という文字をよくみか  
けます。いじめをしている人は、人を傷つけて楽し  
いのでしょうか。

わたしは、他の人を傷つけたり、いじめたりする  
ことは、絶対にしてはいけないことだと思います。

一つ目の理由は、第一、人を傷つけるからです。い  
じめ＝傷つけるものであり、悪口を言われたり、無  
視されたりした人は、いっしゅんで心に傷がついて  
しまいます。そして、人がいじめられているところを  
みていた人も心に傷がついてしまうと思います。い  
じめで傷つく人は、想像以上にいるのです。

二つ目の理由は、いじめを続けていると、ときに  
とうとい命を失わせてしまうかもしれないからで  
す。ときどき、ニュースでみるように、いじめのエス  
カレートなど、いじめが原因で世界に一つしかない  
大切な命がうばわれたという事件が実際にあるこ  
とをみなさんは、知っていますか？短くいうと「自  
殺」です。もう、だれもわからないほどの深い傷がつ  
き、自ら自分の命を絶ったのです。このことで悲し  
い思いをした人はたくさんいたと思います。こんなに  
悲しい事件はもう絶対におこしてはいけません。

遊びで友達をけったり、「バーカ」と笑いながら  
言ったりしているだけだからだいじょうぶと思っ  
ている人もいるかもしれません。でも、やられている  
人は笑顔かもしれないが、心の中ではとても傷つ  
き、苦しんでいると思います。遊び感かくで友達を  
いじめている人は今すぐやめてほしいです。

いじめは絶対にしてはいけないことだと思います。  
そして、いじめられている人をみかけたら、たす  
けてあげてください。いじめられている人をいじめ  
からたすけることは勇気がいるし、とても難しいこ  
とだと思うけど、勇気をだして声をかけてあげること  
が大事だと思います。日ごろから相手の気持ちも  
考えて過ごすことが大切です。

今、わたしの学校の代表委員は、「ありがとうプロ

ジェクト」という活動を行っています。わたしが通  
っている小学校では、最近、「ありがとう。」の言葉が  
減ってきていると感じました。そこで、この学校にあ  
りがとうの言葉が増えるように、ありがとうの言葉  
でつつまれた学校生活がおくれるようにと願い、あ  
りがとうプロジェクトをつくりました。ありがとうプ  
ロジェクトでは、みんなは一日にありがとうを何回  
言っているのか、そして、そのありがとうの言葉は、  
いつ、どこで、だれに言ったのかを調べるために、  
チェックカードやアンケートをつくり、全校のみな  
に答えてもらいました。他にも、校内放送でアン  
ケートの結果を伝えたり、全校集会でありがとうを  
たくさん言おう、と話したりしました。

私は、ありがとうの力ってすごいなと思ったこと  
があります。学校の大そうじの時に、風でたくさんの  
紙が散らばり、困っている女の子をみかけました。わ  
たしは、その紙をひろって女の子にわたしました。  
すると、女の子はわたしに、とてもうれしそうに、  
「ありがとう。」

と言いました。私は、とてもささいなことをしただけ  
だけど、このありがとうで心がとてもあたたかくな  
りました。相手も自分もうれしい気持ちになれるあ  
りがとうの言葉ってすごいなと思いました。

ありがとうプロジェクトを行い、この活動をする  
前より、ありがとうの言葉が増えたと思います。わ  
たしは、ありがとうプロジェクトや日常生活の中か  
ら、ありがとうの言葉が持っている力や人を大切に  
することの大事さを学びました。これから、困っ  
ている人がいたらよりそってあげたいです。そして、あ  
りがとうをたくさん言えるように、人の行動をみて、  
周りの人が喜んでもらえるような行動をしたいで  
す。もっと学校にありがとうをひろめて、地域にも  
ありがとうがひろまってほしいです。そして、いじめ  
が全くなり、ありがとうの言葉であふれる明る  
い社会になるように願います。



## 更生保護女性会の活動

更生保護女性会 会長 加藤 美知子

私たち更生保護女性会は、保護司会と共に活動しており、三つの柱である「更生保護活動」「非行防止活動」「子育て支援活動」に重点を置き、子育て支援活動を行っています。

会員はマスコット（ビーズのストラップ）を作り、市内の幼稚園、保育園へ「小さな目、親と社会を見て育つ」の標語をそえて、毎年、約1000個程贈っています。

更生保護施設訪問を通して、「犯罪を犯してしまった子供達は幼少期の親との係わりががとても希薄で、家庭の暖かさを知らずに育った人が多く、人との付き合い方や、基本的なマナーを知らない」と聴いてとても悲しく、やり切れない思いがいたしました。人の長い一生の中のほんの数年の親との絆が大切な役割をしていると思います。

また、公民館での託児協力では母親からの相談を受けることもあります。私たちの経験を話したり、不安に思っていることにアドバイスをしたりして、少しでも親の悩みを軽減できたらいいと思います。子供達の屈託のない笑顔をながめながら、これからも小さな力ですが、前向きに更生保護の活動を続けてまいります。



## 安城協力雇用主会設立から6年

協力雇用主会 会長 鈴木 浩

安城協力雇用主会は、平成23年度安城保護司会と市内14社の協力雇用主会社でスタートして、6年が過ぎました。現在41社の協力をいただき、職種は大半が建設業です。

ここ数年、対象者との面接は年10人程で勤務から実質雇用につながるのは2・3人です。

全国的には、1年もたたないうちに、再犯した人は5割おります。また、再犯時無職の人は、約7割にものぼることが調査で明らかになっています。刑務所を出て社会に復帰した時、「居場所」や「仕事」を確保していくことが大切です。こういった現状の中、今後積極的な雇用に進んで行かなくてはと思います。

明るい社会、お帰りなさい精神で安城協力雇用主会は進んでまいります。皆様のご支援、ご協力よろしくお願いいたします。



## 瀬戸少年院での活動に参加して

安城市BBS会 加藤 逸紀

安城市BBS会は、設立2年が経過しました。現在までに「ともだち活動」の実績はありませんが、定期的に会合を持ち会員同士の交流を深めています。保護司の方々をはじめ、更生保護団体の皆さんと情報交換をさせていただいています。また、市内の美化ボランティア活動に参加したり、近隣のBBS会との交流も行っています。

今回は、愛知県BBS連盟として「瀬戸少年院での活動」に参加し、「読書感想文発表会」と「意見発表会」では審査員をしました。発表内容は、よく指導され、しっかりと練習した内容だと感じ

ました。少年院と一口に言っても、実際にはどのようなものなのか殆ど知らない状況での参加でしたが、実際に見たことによって調べたり考えたりするきっかけになりました。こうした経験も、今後「ともだち活動」を行う際の役に立てられたらと考えます。



## 保護観察の現状

名古屋保護観察所 保護観察官 吉川 綾美



平成29年度より、安城保護区の担当をしております。

今回は、保護観察官から見た「保護観察の現状」について、ご紹介いたします。

平成27年度より、名古屋保護観察所で勤務しておりますが、名古屋保護観察所の保護観察の係属件数は、少しずつ減少しております。安城保護区におきましても、同様に保護観察係属件数が少しずつ減少しているところです。このように、「事件数」で見ますと、安心安全な社会が実現されつつあるように思われます。

一方で、日々対象者に接している私たち保護観察官及び保護司さんは別の現状につき当たっているように思います。それは、再犯率の高い薬物事犯者をはじめとする立ち直りまでに時間や手厚い支援を要する対象者が増えていることです。この者達の中には、地域の社会資源の情報に乏しく、「孤独」を抱えている者が少なくありません。

私たち保護観察官も専門的処遇プログラムの実施や日々の面接指導を通じて、本人の改善更生を促しているところでありますが、地域の皆様におかれましても、あたたかい見守り、助け合いの輪を広げていただき、「孤独」の解消にお力添えいただければと思います。

## 更生保護サポートセンターの今後の取り組みについて

サポートセンター長 保護司 後藤 喜久男

近年、保護観察対象者の抱える問題の複雑・多様化等により、個々の保護司だけの支援では保護観察対象者等の立ち直りを実現させることが困難な状況となっています。処遇活動の組織的支援や犯罪予防活動の拠点として、また、地域における更生保護活動の強化を目的としたサポートセンターも5年目を迎え、保護司の情報交換の場、部会や処遇会議、対象者との面接の場所として定着が図られてまいりました。

一番大きな効果としては、これまで同じ保護区でも研修等でしか接する機会がなかった保護司同士がより親密になり、処遇の悩みや社会資源等の情報交換がしやすくなったことであると思います。今後は、新任保護司の処遇能力向上のための研修会の開催、保護司同士の処遇会議・情報交換会などを積極的に開催し一層の活性化を図りたいと考えています。

### 過去3年のサポートセンター利用者数

| 月<br>年 | 1月  | 2月  | 3月  | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 計     |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 27     | 121 | 137 | 109 | 128 | 141 | 164 | 160 | 150 | 171 | 136 | 144 | 134 | 1,695 |
| 28     | 118 | 149 | 129 | 156 | 156 | 153 | 178 | 135 | 139 | 130 | 161 | 152 | 1,756 |
| 29     | 135 | 134 | 137 | 169 | 188 | 169 | 178 | 147 | 159 | 140 | 136 | 133 | 1,825 |

### 主要な利用目的（活動内容）

- ①対象者の処遇に関する事務及び協議、並びに情報の交換・・・・・・・・・・ 122件
- ②保護司会の運営に関する事務及び協議 112件
- ③サポートセンターの運営に係る事務及び協議・・・・・・・・・・ 54件
- ④部会の活動に関する事務及び協議・・ 50件
- ⑤保護司の研修に関する事務及び協議 41件
- ⑥対象者等との面接・・・・・・・・・・ 37件
- ⑦社会を明るくする運動に関する事務及び協議・・・・・・・・・・ 33件
- ⑧関係団体（雇用主会・更女会・BBS会・警察等）との協議・・・・・・・・・・ 22件
- ⑨学区の保護司活動に関する事務及び協議 14件
- ⑩就労支援に関する事務及び協議・・・・ 13件
- ⑪各種の相談・・・・・・・・・・ 10件
- ⑫その他・・・・・・・・・・ 42件

### 安城更生保護サポートセンター

（住所） 安城市桜町19番13号（安城市役所さくら庁舎1階）  
 （電話・FAX） 0566-72-7010  
 （開所日時） 月～金 午前9時～午後4時（正午～午後1時 休憩）



# 平成29年度 各部会の活動状況

## 総務部会

部会長 富田 博治

| 月日    | 場所         | 事業内容等                                     |
|-------|------------|---|
| 4月5日  | 市内         | 役員引継ぎ会の運営                                 |
| 4月12日 | さくら庁舎      | 4月定例会及び保護司会互助会総会の運営                       |
| 4月19日 | さくら庁舎      | 保護司会総会(名古屋保護観察所長、市長、議長、教育長、安城警察署長等の来賓)の運営 |
| 5月10日 | 市民会館       | 5月定例会の運営                                  |
| 6月7日  | さくら庁舎      | 6月定例会の運営                                  |
| 6月～3月 | サポートセンターほか | 第1回～第6回総務部会<br>広報紙「みち」の編集会議及び<br>部会活動の協議  |

| 月日    | 場所          | 事業内容等                                 |
|-------|-------------|---------------------------------------|
| 8月2日  | さくら庁舎       | 8月定例会の運営                              |
| 9月6日  | 市役所会議室ほか    | 9月定例会、保護司歓送迎会及び<br>社会を明るくする運動報告会の運営   |
| 11月1日 | 市民会館        | 11月定例会の運営                             |
| 12月6日 | さくら庁舎<br>ほか | 12月定例会、保護司歓送迎会及び<br>法務大臣表彰等受表彰者祝賀会の運営 |
| 2月7日  | さくら庁舎       | 2月定例会の運営                              |
| 3月1日  | さくら庁舎       | 広報紙「みち」の発行及び発送                        |
| 3月7日  | さくら庁舎       | 3月定例会の運営                              |



保護司会総会(来賓祝辞・市長)



総務部会編集委員会



保護司会総会(さくら庁舎)

## 研修部会

部会長 杉浦 貴己

| 月日    | 場所       | 事業内容等          |
|-------|----------|----------------|
| 5月12日 | サポートセンター | 県外研修候補地と実施日の検討 |
| 6月19日 | サポートセンター | 県外研修先の決定、詳細検討  |
| 7月13日 | サポートセンター | 県外研修日程・内容等確認   |
| 8月30日 | サポートセンター | 県外研修の役割分担と最終協議 |

| 月日       | 場所       | 事業内容等                                   |
|----------|----------|---|
| 10月4日～5日 | 浜松市、静岡市  | 県外研修<br>(静岡刑務所浜松拘置支所及び<br>更生保護施設「少年の家」) |
| 10月25日   | サポートセンター | 県外研修の反省と県内研修の検討                         |
| 12月6日    | さくら庁舎    | 更生保護女性会との合同研修(講演)                       |
| 1月10日    | 豊橋市      | 県内研修(東三更生保護会「智光寮」)                      |



静岡刑務所浜松拘置支所



更生保護施設「少年の家」(静岡市)



東三更生保護会「智光寮」

# 犯罪予防部会

部会長 服部 和光

(注)社明運動＝社会を明るくする運動

| 月日    | 場所        | 事業内容等  |
|-------|-----------|--|
| 4月4日  | JAあいち中央本店 | 年間計画立案   |
| 4月28日 | さくら庁舎     | 部会役割分担について検討<br>年間活動計画について立案<br>社明運動作文、標語表彰式、講演会の講師について協議  |
| 5月24日 | サポートセンター  | 社明運動の実施計画作成  |
| 5月25日 | さくら庁舎     | 社明街頭啓発活動・ミニ集会実施計画について検討<br>啓発用品の検討・講演会講師の依頼  |
| 6月21日 | サポートセンター  | 啓発用品・資材の準備   |
| 6月26日 | さくら庁舎     | 社会を明るくする運動安城市推進委員会が開催された<br>社明街頭啓発活動・ミニ集会実施方法及び南中学区アンフォーレ・ドミーでの街頭啓発活動について協議<br>啓発用品・資材を部会員で準備、各学区に配分 |

| 月日       | 場所        | 事業内容等   |
|----------|-----------|---|
| 7月1日     | ドミー前      | 社明街頭啓発活動実施  |
| 7月中      | 各学区指定会場   | 8学区9会場でミニ集会を実施  |
| 7月27日    | さくら庁舎     | 安城七夕まつり巡回パトロール実施要領について協議<br>社明運動作文、標語表彰式、講演会の実施要領について協議   |
| 8月4・5・6日 | 七夕会場      | 安城七夕まつり巡回パトロール実施  |
| 8月23日    | アンフォーレホール | アンフォーレ会場準備  |
| 8月24日    | アンフォーレホール | 第67回社会を明るくする運動<br>安城市推進委員会 標語・作文表彰式 講演会<br>講師 安城市教育長 杉山春記氏<br>演題「大切にしたいこと」<br>アトラクション(マジックショー)水上保之、江刺とも子氏 |
| 12月      | サポートセンター  | 社明運動の反省会  |
| 2月       | サポートセンター  | 平成30年度活動計画立案  |



七夕まつり巡回(JAあいち中央にて)



七夕まつり巡回パトロール



社明運動(総理大臣からのメッセージ伝達)

# 育成指導部会

部会長 神谷 善雪

| 月日    | 場所             | 事業内容等   |
|-------|----------------|---|
| 4月25日 | サポートセンター       | 部会の年度計画確認<br>第1回就労支援意見交換会の打合せ                     |
| 5月25日 | サポートセンター       | BBS会との交流検討<br>8月研修会の計画立案                          |
| 5月    | 各中学区           | 第1回就労支援意見交換会                                      |
| 6月12日 | サポートセンター       | 第1回就労支援意見交換会の反省<br>BBS会との意見交換会計画<br>就労支援研究会について検討 |
| 7月31日 | 三河安城コミュニティセンター | BBS会との意見交換会<br>BBS会と育成指導部保護司との意見交換会実施             |
| 8月17日 | サポートセンター       | BBS会との意見交換会の反省<br>第2回就労支援意見交換会打合せ                 |

| 月日     | 場所          | 事業内容等                               |
|--------|-------------|-------------------------------------|
| 10月    | 各中学区        | 第2回就労支援意見交換会                        |
| 11月14日 | サポートセンター    | 第2回就労支援意見交換会の報告、反省<br>協力雇用主会との合同研修会 |
| 12月13日 | サポートセンター    | 協力雇用主会との合同研修打合せ                     |
| 1月17日  | サポートセンター    | 協力雇用主会との合同研修会<br>(講演会の確認)           |
| 2月17日  | 安城市総合福祉センター | 保護司・協力雇用主合同研修会                      |
| 3月     | サポートセンター    | 一年間の反省及び来年度年間計画                     |



育成指導部会(サポートセンター)



育成指導部会(サポートセンター)



育成指導部会(さくら庁舎)



# この一年をふり返って

安城保護区保護司会 会長 石川 誠

犯罪のない明るい社会をめざし、保護司会は地域のみなさんの協力のもと、ともに活動してまいります。

写真はこの一年をふり返ってみた主な行事の様子です。



保護司会総会(さくら庁舎)



ミニ集会(安城南中学校区)



社会を明るくする運動街頭啓発



社会を明るくする運動(表彰式)



愛知県更生保護大会(刈谷市)



## 栄誉に輝く方々



法務大臣表彰

全国保護司連盟理事長表彰

中部地方更生保護委員会委員長表彰

中部地方保護司連盟会長表彰

名古屋保護観察所長感謝状(内助功労)

名古屋保護観察所長感謝状(保護司会事務協力者)

愛知県保護司会連合会長表彰

黒柳 一明

杉浦 きみよ

三浦 正喜 野村 信正

安藤 義美 太田 安彦 竹尾 香代子 島田 更司 後藤 喜久男

石川 美津子

市川 嶺

金子 久俊 清水 好史 板津 民雄

## 平成29年 新任保護司紹介



岩月 隆夫  
(桜井中学校区)



山本 康孝  
(安城西中学校区)



内藤 和光  
(安祥中学校区)



石川 正美  
(安城南中学校区)



杉浦 博之  
(安祥中学校区)



山本 典子  
(安城北中学校区)



江坂 慎也  
(東山中学校区)

## 平成29年 退任保護司

鈴木 浩  
(明祥中学校区)

杉浦 保彦  
(安祥中学校区)

石黒 滋文  
(安祥中学校区)

太田 邦昭  
(桜井中学校区)

守永 繁治  
(安祥中学校区)

富田 守男  
(東山中学校区)

山本 隆教  
(安城北中学校区)

事務局 安城市役所 社会福祉課社会福祉係 安城市桜町18番23号 TEL0566-76-1111